

滋賀県レイカディア大学同窓会 甲賀・湖南支部通信

NO3:平成27年1月31日発行

発行責任者:滋賀県レイカディア大学同窓会:甲賀湖南支部長・橋本 元夫:0748-88-3730

***** 2015,1,31 (No.3)		目 次		*****	
巻 頭 言					
私のウォーキング	高山 雅史		31期	地文	1
私たちのグループ活動					
お茶会に参加	大平 英子	信楽	33期	園芸	2
地域で生き生きボランティア	木村 栄子	石部	28期	陶芸	3
同 好 会 活 動					
石部散策ハイク	高山 雅史	同好会	31期	地文	3
支 部 活 動 報 告					
新入会員歓迎会開催	森井 幸三	総務研修部	31期	地文	4
趣味の作品展	植西 偉分	総務研修部	28期	陶芸	5
淡路島を訪れて	木村 文一	総務研修部	33期	園芸	6
ボランティア活動 動向調査	奥本 静子	健康福祉部	31期	生活	7
お 知 ら せ					
本部主催「地域活動体験発表会」					7
同窓会 ホームページ 開設されました					8
甲賀・湖南支部たより(NO14)の発行					8
編 集 後 記	前田 松栄	広報文化部	30期	スポ	8

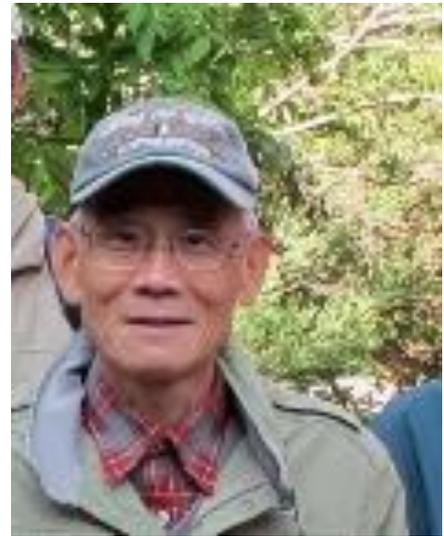
<*****>



巻頭言 私のウォーキング

石部地区 代表理事 31期 地域文化 高山 雅史

レイカディア大学同窓会員も甲賀、湖南支部では平均 70 歳を超えていると思われ、今まで何とか維持してきた体力も下り坂にさしかかります。最近健康志向のための、料理、サプリメント、エクササイズとさまざまなハウツウものが世に溢れている。皆さんもいろいろ健康に気を付けておられると思いますが、私はエクササイズとして残るのはウォーキングと思っています。



私はもともと山歩きをしていましたが、リタイヤしてから強度の高いものばかりでなく、旧跡などを取り入れた東海自然歩道を歩くことにしている。箕面から東京の高尾山まで1697.2kmを何回かのコースにわけて少しずつ進めて、やっと5年目で富士山の原生林までたどり着いた。ゴールの高尾山は先に終わっていたのでアプローチの悪い丹沢周辺が残り、一気にいくとすると山小屋が少ないのでテントを担いでの登りとなりこの歳では無理。麓で一泊してピストンして倍の時間をかけるべきか、現在思案中なのです。スタート時は元気なのと近場は車が使えるので毎月3~4コースを歩いていました。自然歩道はそのうちに完歩できると考えていたので夏と冬はもっぱら山登りを楽しんだ。

しかし10年前の山行記録を見比べると時間が 1.5 倍かかっている。改めて自分の年齢、体力の現状を知ることになった。それは自分でも気づかない内にペースが少しずつ体に合わせて落ちて来ているのである。

1日家の中にいると3000~4000歩位なので、体力維持を考えて7000~8000歩を週5日ほど時間のとれる時に歩いています。ただ毎日コースは変えるが、コンスタントに歩くにはかなりの忍耐力が要る。ウォーキングも毎日の食事と同じく必要な栄養補給の一つであると考えて、トレーニングとは思わないようにしています。いづれにしても継続することが一番肝心と思う。

自然歩道もあわてずに少しずつ歩くことにしている。ただ長時間歩行の後(6時間以上)はサプリメントのご厄介にもなっている。疲労回復には効果があるようだ。

今まであまり気にもかけなかったハウツウものにも少し関心を向け、体力の現実も確認し、山でも頂上を目指すとか踏破するとかには重点を置かず、百名山完登や八十八カ所巡り完歩の人には敬意を表しながら、歳相応のウォーキングをしています。

私たちのグループ活動

お茶会に参加

信楽地区 グループ活動
33期 園芸 大平 英子

芸術の秋、文化の秋たけなわの10月23日信楽分会では会員10名参加のもと会員であり、裏千家の茶道の先生でもあります今井進さんのお茶室をお借りしてお茶会を開催しました。

「紫香楽宮趾で今年はお茶会をしましょう」と4月の総会で決まりましたが、県、市の許可が必要とのこと、その日の天候のことなどを考慮し、初めての試みでもあるので、今井さんには準備など大変お世話になりましたが、有意義な2時間を過ごすことができました。



秋晴れの天気にも恵まれ、お茶室にはコスモス、ホトトギスの花に迎えられ、みんな少し緊張気味でお茶室へ。別室で濃い席、薄席のお茶、お菓子の頂き方、お作法、お道具の扱い方などについてプリントして頂いた資料を見ながら、丁寧に説明を聞き、和気あいあいとした雰囲気でも美味しくいただきました。

薄茶はイベントなど野点でいただいた経験はみんなありましたが、楽茶碗で回して頂く濃い茶はみんな初めてで、なんとも言葉で表せない甘い、コクのある味に感動でした。

お茶は奥が深く、一度のお茶席では到底学ぶことはできませんが、とってもよい勉強になりました。また機会があれば是非との思いで帰路につきました。

紅葉が始まった信楽の郷で文化の秋の一端にふれたひと時でした。

今井さんほんとうにお世話になりありがとうございました。

支部通信 NO2「喫茶・わび茶の譜」を拝読して

31期 生活 奥田 直子

今井様は、茶道裏千家淡交会の准教授としてご活躍されてこられました。ご自身の健康のためにも、茶の湯の伝統文化を伝えていくためにも、これからも教室を続けていきたいと言われておられました。六古窯の地として信楽焼きは、伝統工芸として現在に継承され、侘茶の茶器も製作されてきました。

今度は、今井様の投稿により信楽焼きが茶の湯の道具として珍重されてきた歴史を知る機会となりました。



地域で生き生きボランティア

石部 28期 陶芸 木村 榮子

大阪から主人の定年を機に滋賀に戻って13年目、その間レイカ大在学中に地域(湖南市)ふれあいの館で、就園前の子育て支援(すずめの学校)のおやつ作りに毎月2回参加しました。

年度末には卒業記念に陶板で2~3才児の可愛い「手形」を作成するのが今年で8年目、只今素焼きに入っています。親子で完成作品を手に喜んで頂く事が、また、新年度も!!と、元気を貰いファイトが湧きます。

お菓子作りのメンバーも13人位で、発足時からメンバーも変動なく、40~80歳と年齢差もあってお互い教えられ、11月28日の県社協フオーラムで地域健康活動分科会発表を、他の健康バンド体操を指導している関係で依頼されました。そんな時もVTのメンバーや地域の方々に応援して頂きました。

好きなもののために、自分を殺して全力を尽くし、いろいろなジャンルに奉仕、歳を重ねても又楽しい!!



同好会活動

石部散策ハイク

里山ハイキング 同好会

31期 地域文化 高山雅史

今回は東海道51番目の「京立ち、石部初泊まり」といわれる石部宿とその周辺を歩きました。AM10:00に湖南市役所西市庁舎(石部)集合して、まず長寿寺へ行きました。

丁度「湖南三山めぐり」イベントの最中で、地元特産品即売場を通り、鎌倉時代再建の古刹長寿寺に入る。銀杏の落ち葉で敷き詰められた紅葉のトンネルをくぐり本堂へ入る。住職の奥さんの講話が堂内であり、本尊の子安地蔵尊にまつわる話はなかなか面白かった。イベントの期間内公開の丈六阿弥陀如来坐像も見る事が出来た。さらに安土城の惣見寺の三重塔として移設された塔跡の礎石を見る。

ここを出て雨山文化運動公園へ向かい石部宿歴史民俗資料館を見学する。石部宿成立の過程を古墳時代からパネル、出土物で、また小島本陣のジオラマ模型、宿泊者の看板(名札)など示さ

れ、石部宿成立の概況がよく判った。

公園の中で昼食をとり、西庁舎へ戻り旧東海道石部宿散策に出る。まず高札場、立場(人馬継立:駕籠、人足手配、荷物の中継ぎ)、から本陣跡(小島、三大寺)、一里塚、西の見付け、田楽茶



屋、吉御子神社を回り昔の石部宿の賑わいに思いを馳せる。真明寺では住職が出てこられて本殿前の芭蕉の句碑の由来を詳しく説明いただいた。

ここまで2時間ほどの歩行を入れて4時間の街道歩きと古刹寺院散策は、晴れて穏やかな天気でもあったので、ゆっくり楽しめた1日となりました。(平成26年11月19日実施)

支部からのお知らせ

新入会員歓迎会開催

総務研修部

31期 地文 森井幸三

平成26年10月3日(金)、今年卒業され当同窓会に入会された35期生の歓迎会が水口中央公民館で開催されました。

甲賀・湖南地区で同窓会入会者9名のうち、当日参加者は3名と少しさびしい結果となりましたが既存会員34名が歓迎しました。

今期の新入会員は、学科別は園芸4名、地域文化、環境、陶芸、健康、北近江文化がそれぞれ1名、地域別は甲西地区7名、水口、甲南地区がそれぞれ1名でした。今後の御活躍を期待します。





橋元支部長が歓迎の挨拶を述べた後、会員の藤岡茂樹氏より「地球一周の旅より」と題した講演を聞きました。講演のあと、全員で昼食を取ったあと、隣室で開催している「趣味の作品展」を鑑賞したあと散会しました。

参加者同士は和気あいあいの雰囲気楽しいひと時を過ごしました。

今後、新入会員のみなさんが参加しやすいよう、開催時期等について考えていきたいと思ひます。



趣味の作品展

総務研修部

28期 陶芸 植西偉文

平成26年10月2～3日恒例の趣味の作品展が開催されました。

出展者29名の会員の絵画、写真、陶芸、書、盆栽、俳句、等々日々精進された素晴らしい作品が一堂に展示され多くの皆様に観賞頂き大きな感動を与えました。

今後とも会員の皆様がお互い趣味と生きがいを持ちつづけられます様に、今回の作品展が契機になればと思っています。

ここに出品された皆様に厚くお礼申し上げます。



淡路島を訪れて

総務研修部

33期 園芸 木村 文一

総務部担当の研修旅行は11月18日、33名の参加をいただき淡路島を訪れました。

当日は桂川PAでは小雨が降り心配でしたが、木々の紅葉を楽しみながら西へ向かうに従い徐々に天候は回復して淡路島では快晴となりました。

途中で灘にあります白鶴酒造資料館に立ち寄りました。白鶴酒造は、1743年創業の老舗であり伝統を守りながらも四季醸造工場の建設や紙容器を導入するなど先進的な取り組みで発展して来られました。酒造資料館は、黒褐色にくすんだ古い酒蔵を残し、当時の酒造りの姿がそのまま再現されています。しっとりした落ち着いた雰囲気の中洗米から麹取込みや醪仕込みなど樽詰にいたるまで数多くの工程が展示されていました。展示場を見学したあとは試飲コーナーもあり、多くの人々が楽しんでおられました。

酒造資料館を後にして舞子トンネルを抜けると吊橋では世界一の明石海峡大橋で眼下に広がる明石海峡は青く澄み波静かでした。

阪神淡路大震災で大きな被害を受けられた北淡町を超えて、線香作りで120余年の伝統と歴史ある薫寿堂の工場を見学しました。淡路島は日本で生産される線香の七割を占める大きな産地です。線香は梔の木の樹皮を粉末にしたものに、白壇や沈香など香木の粉末や炭の粉末とその他いろいろな香料を使い好まれる香りをだすよう作られています。工場では調合された原材料の練上げから成型・断裁・乾燥・箱詰・包装まで繊細な作業を一貫してされていました。工場に隣接するショールーム・ショップでは、一般的な線香から1メートルを超えるような長い線香や、またいろいろな香料を使った香りを楽しめる多くの種類の線香がところ狭しと陳列されていました。多くのお客様が販売員のアドバイスをうけながら購入されていました。



ホテル・ザ・サンプラザで昼食をとり、その後淡路お菓子館でショッピングを済ませて淡路島七福神大黒天・八浄寺に参拝しました。

1394年、開基心了法師の阿弥陀如来像造立に始まる600余年の寺歴ある古刹です。本堂は平成元年9月に再建落慶されて立派な寺院でした。広い境内には弁天堂を初め弥勒堂など数多くのお堂がありました。住職様のユーモアに満ちた法話を拝聴しました。明るい笑顔と感謝の気持ちいっぱい一日一日を送る事の大切さを再認しました。

帰りはビンゴゲームをして楽しく過ごしました。

一日のあわただしい旅行でしたが有意義であったかと思えます。

参加者の皆様には大変なご協力を賜りました事厚くお礼申し上げます。

ボランティア活動動向調査

健康福祉部長

31期 生活 奥本 静子

当支部では、本年度から地域への社会貢献のため、ボランティア活動に積極的に取り組むこととします。そのアプローチとして、会員各位の活動実態を把握するため、アンケートを実施することになりました。

平成27年度は「ボランティア活動懇話会(仮称)」を事業に取り入れ、会員のご理解とやる気を高める活動を持続的に展開したいと考えています。(趣旨説明文の抜粋)

設問の概要は、次のとおりです。

1. ボランティア活動に参加経験の有無
2. ボランティア活動歴
3. ボランティア活動の種類
4. ボランティア活動を経験してよかったこと・改善点等
5. 未経験の理由
6. ボランティア活動の動機



趣旨説明文・設問書は、年末に各個配布しています。この趣旨にご賛同いただき、日常の活動状況を記入してくださるようお願いいたします。

なお、集計結果・今後の方向等は、「支部通信」等を通じお知らせいたします。

お知らせ

●本部主催「地域活動体験発表会」の開催

- 1月23日(金):近江八幡「ひまわり館」
- 9支部より発表(当支部代表:33期 園芸 竹内重行氏 「ささゆりサポート隊」)

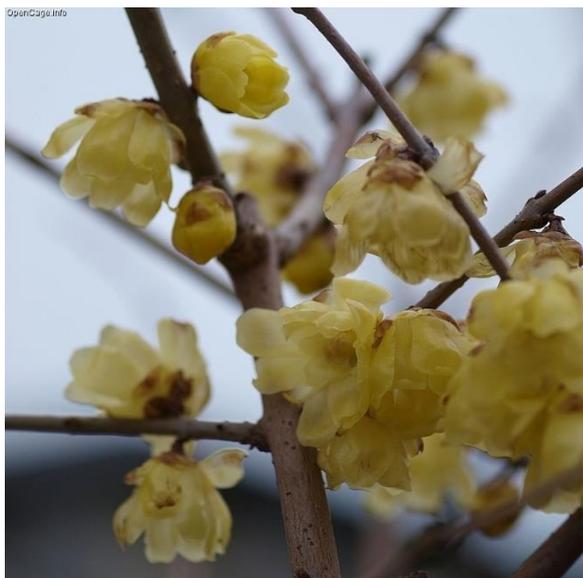
●同窓会 ホームページ

- 14年10月から立ち上がっています。
- 「甲賀支部」のページがあります。現在は、支部通信の NO.1 と NO2を掲載中
- 検索は、滋賀県レイカディア大学⇒レイ大同窓会⇒甲賀支部

●「甲賀・湖南支部たより(第14号)」の発行について

- 従来、3月1日の発行でしたが、支部通信との発行間隔の関係から、4月1日の発行に変更いたします。
- そのため、原稿締切は、2月15日といたします。
- 会員の皆様の活動状況、随筆、旅行記、文芸作品等たくさんの投稿をお願いします。

編集後記



ロウバイの甘い香りに新しい年の始まりです。
会員の皆様もこころ新たに人生目標に向かって歩みだされたことでしょう。

去年は、アスリート達の大活躍で世間に元気を与えてくれました。反面、暴れ馬のごとく増税や聞きなれない最強爆弾低気圧来襲、御嶽山の噴火等自然の怖さに脅えた年でもあり、年末には総選挙とあわただしい年の瀬となりました。

今年は、羊のように穏やかにゆったりと過ごせる年にと、願っています。

甲賀・湖南支部通信も会の動きが見える様にと、早や NO.3 号の発行となりました。投稿いただいた皆様、誠にありがとうございました。

会員の皆様には、本誌が同窓会の情報誌として益々充実しますようご協力お願いいたします。

広報文化部 30期 スポ 前田 松栄 記

- ※ NO3号より、各地区代表理事さんに「巻頭言」を順番制で執筆していただくことにしました。
- ※ 表紙の写真は、趣味の作品展の展示風景です。